



総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課

岡本 愛弓

Ayumi Okamoto

平成 25年 4月 総務省採用  
同 情報流通行政局衛星・地域放送課  
地域放送推進室  
平成 27年 8月 現職

## 総務省での3年間を振り返って

皆さんは総務省に対してどのような印象をお持ちですか?「何をしているのかわかりづらい」と感じている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そのような方々に、私が入省から3年間で経験した業務と私が感じる総務省の魅力をお伝えします。

### これまで経験した業務

私は3年間で2つの部署を経験しました。入省1・2年目は、地域放送推進室で技術面からケーブルテレビの普及推進を行いました。具体的には、ケーブルの断線や設備の不具合などによるケーブルテレビの放送停止事故の分析や事故を減らすための対策、4K・8K放送をケーブルテレビで実現するための技術基準の策定、制度整備などを行いました。

入省3年目の現在は、ICT政策の舵取りをしている情報通信政策課で、マイナンバーカードと2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関わる仕事をしています。マイナンバーカードに関しては、カードに電子的に格納されている本人確認手段のための公的個人認証サービスを使って、映画館やライブ会場でカードをかざすだけで入場できるチケットレスサービスなど、生活に身近な場面においてどのような便利なサービスを実現できるか検討を行うことで、ICTの利活用を推進しています。また、2020年東京大会に向けた取組として、例えば多言語音声翻訳や無料公衆

無線LAN、交通系カードやスマートフォンを利用した便利な社会の構築など、社会全体のICT化を推進するための検討を行っています。どちらの仕事も、民間の有識者やその分野の関係者の意見を伺い、民間の方が主導で取り組むことができるように下支えをしていくことが重要です。新しい技術や発想を持った様々な人たちの力を借りながら政策を形作るのは、複数の異なる立場の人の意見を調整する必要があり大変ですが、知的好奇心が刺激され、非常にやりがいがあります。

### 私が感じる総務省の魅力

情報通信は、携帯電話、テレビ、インターネットなど、私たちの生活の中に当たり前のよう存在しています。生活を豊かにし、私たちの心をワクワクさせてくれる分野です。自分の携った仕事の結果が生活の中でみえやすく、達成感を感じています。また、時々刻々と進化し続ける分野だからこそ、若手職員の新鮮な感覚や意見が反映されやすいと思います。

このように総務省の業務には多くの魅力がありますが、総務省の一番の魅力は、「人」だと私は感じます。入省から3年間、正直に言えば、辛さを感じる時も、悔し涙を流すことも何度もありました。しかし、どんなことにも相談に乗ってくれる上司をはじめ、尊敬できる大好きな同期や大切な仲間を支えられ、多くの苦難を乗り越えることができました。

学生時代、私は総務省に対して漠然としたイメージしか持っていませんでした。しかし、官庁訪問で面接を重ねるうちに、自身の経験や仕事への思いを明るく熱心に語ってくださる先輩方と一緒に仕事をしたいという思いが日に日に募り、最終的には総務省で働きたいという思いが誰よりも強くなりました。そして今も、その選択は間違っていなかったと心から感じています。仕事を選択する上で、仕事内容は勿論とても重要な要素ですが、どんな人たちと一緒に仕事ができるのか、どんな人たちと同じ時間を過ごすことができるのかということも、仕事内容と同じくらい重要な要素だと思います。周囲の人たちは、自分自身を更に高めてくれる大切な存在です。

皆さんもぜひ総務省に足を運んでみてください。総務省カラーのオレンジのようなあたたかい雰囲気と、その雰囲気を作っている人たちの魅力を肌で感じていただけたらと思います。そして、その上で総務省を選んできたのならとても嬉しいです。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



同期と銀座でランチ。異なる分野の業務を行う同期との会話は、刺激にも気分転換にもなります



外務省 国際協力局 国際開発協力第二課 課長補佐

網野 尚子

Naoko Amino

平成 17年 4月 総務省採用  
同 情報通信政策局通信規格課  
平成 19年 7月 文部科学省研究開発局参事官  
(宇宙航空政策担当)付  
平成 20年 8月 同 研究開発局参事官付委員会係長  
平成 21年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部  
データ通信課専門職  
平成 23年 10月 (産休・育休取得)  
平成 25年 4月 同 総合通信基盤局電波部電波政策課  
専門職  
平成 25年 7月 現職

## 活躍の場は省庁を超えて

### 情報通信行政のやりがい

朝、4歳の娘が私のスマートフォンに話しかけている声で目を覚ました。「娘:きょうのてんきははれですか。」「スマホ:はい、今日は晴れになるでしょう。」寝ぼけた頭で、うちの子が一体何をやっているのか理解するのにしばしかかりましたが、今の子供には物心がつく頃から、手のひらサイズの機器が天気や答えてくれるような、自分が子供の頃からは想像がつかない世界が広がっていることを実感し、改めて情報通信技術の進化による世の中の変化の早さに新鮮な驚きを覚えました。情報通信技術は、ことほど左様にめまぐるしく進化し、世代を問わず深く生活に根ざしたものとなっており、そんな情報通信技術分野の行政に携わることは、大変やりがいがあることだと思います。

### 総務省での仕事、現在の仕事

私は入省以来、総務省では情報通信技術の国際標準化、インターネットドメイン名やIPアドレス政策などを担当しました。また、文部科学省、外務省への出向を経験し、情報通信技術とは直接関係のない分野の仕事にも携っています。現在は外務省に所属し、中南米のODAを担当しています。ここでは、関わっている種々のプロジェクトにより、被援助国の人々が笑顔になることが実感でき、総務省で担当した仕事とは違うやりがいを感じます。また、総務省の時とは違う視点に立って考える必要があり、情報通信技術分野に偏らず様々な経験ができることは大変貴重です。

### 様々な経験ができる職場

総務省に入省すると、活躍の場は省内にも日本にも留まりません。情報通信技術を軸としつつも様々な経験をするを通して、成長することができる、そのような職場だと思います。少しでも多くの方に興味を持っていただけたら嬉しいです。

## イノベーションの聖地 シリコンバレーから

### イノベーションの創出に向けて

皆さん、シリコンバレーからイノベーションについて考えてみませんか。

Google、Apple、Facebook、Twitter、Yahoo!... 皆さんどれも一度は聞いたことがある企業かと思いますが、アメリカカリフォルニア州サンフランシスコ市からサンノゼ市まで距離にして約80km、世界的有名なIT企業の本社が集積し、イノベーションの聖地と呼ばれているシリコンバレーが現在の私の勤務地です。

総務省から外務省の在サンフランシスコ総領事館に出向し、情報通信政策から少し幅を広げて、シリコンバレーで絶えず起きているイノベーションに直接肌を触れることで、日本からどのようにしてイノベーションを創出できるかを日々考えながら勤務しています。

イノベーションを創出するには、最新の技術開発に目を向けがちですが、政府の役割、特に普及させるための環境整備が非常に重要です。

その中で一番難しいのは規制です。規制は強すぎても弱すぎてもダメです。技術が持っている優位性を活かしながら、使用する消費者の利便性・安全性を担保するというバランス感覚が要求されます。自動運転技術、ドローン、人工知能(AI)などの最新の技術、サービスの環境整備はカリフォルニア州政府が世界に先駆けて構築しており、ICTを所管する総務省にとっても彼らの考え方が日本で適応する際に非常に参考になります。

### 皆さんへ

私自身総務省に入省した当時シリコンバレーで勤務することは思ってもいませんでした。ここシリコンバレーは、昨日まで流行っていたサービス、技術が今日廃れるなど、目まぐるしく変化が早く非常に刺激的です。ここシリコンバレーでグローバルでダイナミックな動きを目の当たりにしながら、イノベーションの起こし方について一緒に考えてみませんか?